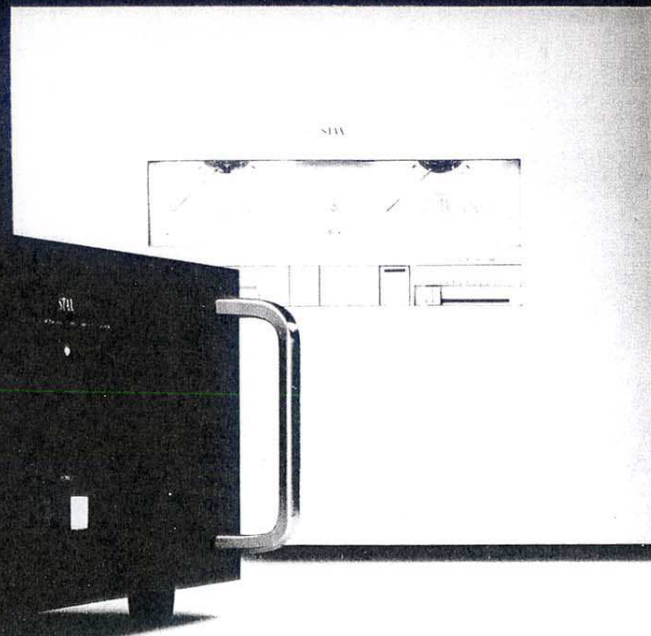


A級DCステレオパワーアンプ
規格 ●実効出力/150W + 150W(20Hz~20kHz・8Ω・THD0.1%)
●周波数特性/DC~1MHz(DCオペアート、+0~-3dB)、3Hz~1MHz(ACオペアート時)
●全高調波歪率/0.01%以下(1kHz)

DA-80M ¥250,000

A級DCモノラルパワーアンプ

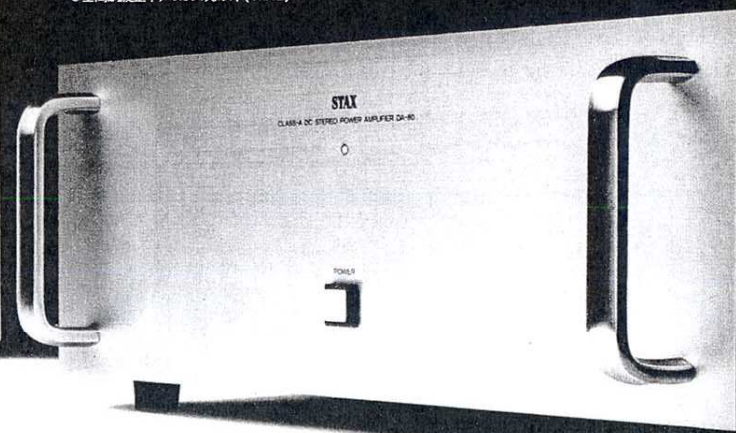
規格 ●実効出力/90W(20Hz~20kHz・8Ω・THD0.1%) ●周波数特性/DC~500kHz(DCオペアート、+0~-3dB・1W出力時)、3Hz~500kHz(ACオペアート時) ●全高調波歪率/0.004%以下(1kHz)



DA-80 ¥270,000

A級DCステレオパワーアンプ

規格 ●実効出力/45W + 45W(20Hz~20kHz・8Ω・THD0.1%)
●周波数特性/DC~500kHz(DCオペアート、+0~-3dB・1W出力時)、3Hz~500kHz(ACオペアート時)
●全高調波歪率/0.004%以下(1kHz)



恵まれた土壤に育ちました。

高忠実度再生が、各コンポーネントの合作であるということ。それが、たとえばパワーアンプの質的な向上を遅らせていたとはいえないでしょうか？アンプの前後を固める機械/電気変換系、つまりカートリッジ、トーンアーム、そしてスピーカー、これらの方がよほどクオリティを左右すると信じられ、事実その現われ方は顕著でした。しかし、その機械/電気変換系が、優れた質を備え

たとしたらどうでしょう。電気増幅系であるアンプの重要度は、いやがうえにも高まります。音楽のダイナミックな抑揚、低音の重量感、そして余韻や静けさの再現は、アンプの伝送特性、いわゆるクオリティにかかっているからです。理論上、最高の変換方式コンデンサ型のカートリッジとスピーカーをもつスタックスは、パワーアンプを育てるうえで、極めて有利

な土壤といえるでしょう。そこに現在の最高峰DA-300が生まれ、その思想と回路をそっくり受け継いだDA-80、DA-80Mが育ちました。A級完全DCアンプという望みうる最高の回路構成と徹底した電源重視の思想、それが、DA-80によっていよいよ煮詰められ、最新作DA-80Mにおいて、モノラルという構成のうえでも、また豊かな表情と品位をもつ音のうえでも、明らかに頂点に達しています。

★オール・コンデンサー・システムのスタックス

STAX

We Love Our Products

日本ビックアップ工業会・会員
スタックス工業株式会社
東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎03(981)7227(代)171

☆製品名をご指定の上、S-11係へ
カタログをご請求ください。